

業務の新聞

第22号 平成30年 5月 12日

提案されました 1

4/25 に支社側から「品川駅線路切替工事に関する」提案を受けました。内容は、品川駅第3ホームを京浜東北線南行と東海道線上り線が使用し乗り換えをスムーズにする。あわせて、要員と業務体制を見直す。と言うものです。

提案時の文章には「必要な教育を行う」とされていましたが、論議の中では「今後、職場と相談して…。」と話されるだけで「必要な教育」の具体的な内容や具体的な日程は残念ながら話されず、施策実施に対しても“大丈夫ですか?”と心配になっています。

今後、関係者と協議し工事完了・施策実施に向け働きかけていきます。

提出しました！

4/27 に申8号「東京車両センターの業務受託拡大に関する申し入れ」申9号「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進による委託拡大に関する申し入れ」申10号「平成29年度営業関係施策（その3）に関する申し入れ」を支社側に提出しました。

施策実施日時も迫っています、関係社員の不安や疑問を解消することを念頭に支社側には考えていただきたいと思います。

“エルダー社員の職場の確保のため”と言う労働組合にとってありがたくも厳しい言葉を噛みしめつつ、組合員の方々の声をもとに取り組みを進めます。

提案されました 2

4/27 に支社側から「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」の提案を受けました。内容は、「線路設備モニタリングなどを活用し、巡視・検査体制を見直す」「各線区に“モニタリング車両”を導入し、データを集積し工事・修繕計画に反映させる」「各職場・支社の要員を見直す」と言うものでした。

現在、線路巡回などで社員の目で確認・精査していたものを“モニタリング車両のデータ集積”にし検査・工事計画に役立てると支社側出席者は自信満々に話していたことが、印象的でした。

提案では、施策実施に伴い“現場要員”が削減されるとしています、組合員の意見や本部交渉の推移を見ながら、検証も含め取り組みを進めます。皆さんのお話を聞かせてください。

思いつくままに

「労働組合に入ってなくても何も変わらないね?!不便も不安もないね！」なんて言葉を聞くことがあります。

皆さんはどういうふうに思いますか？この会社の労働条件・労働環境は、多くの先輩たちの奮闘で創られてきました。この事実を“抜けちゃった方々”はどういうふうに感じているのでしょうか？

本当に「不安」「不便」を感じないのでしょうか？今まで労働組合が必要な場面に遭遇しなかっただけなのではないでしょうか？

JR東日本会社が労働条件・労働環境までキチンと働くもののために考えているならば良いのですが、それは望めないことは、この間経験で私たちは知っています。

「決定的に」なってからでは間に合いません、再考をお進めします。